

# 乾式接着剤張り張り工法施工留意書

(屋内床 木質系合板下地)

Vol.01

ニッタイ工業株式会社

2019年6月5日制定

## 1. はじめに

本留意書はタイル施工法のなかで（屋内床 木質系合板下地）に限定して、施工法の留意点をまとめたものです。床面へのタイル施工法はいまだに湿式工法で張られる機会が多いわけですが、一部では木質系合板下地にタイルを張り付ける必要があります。特にここへの施工は、下地ボード（合板）が薄いため耐衝撃性能や、たわみによる耐ひび割れ性能が要求されます。また最近では床暖房も設置される場合があります、接着剤の選択や下地材料の乾燥度合い等にも影響する場合があります、注意が必要です。

ここでは 600 mm角までのタイルを前提に説明しています。当然のことではありますが、600 mm角以上の超大形タイルには、まだ JASS19 や公共建築工事標準仕様書に記述はありません。各メーカーが模索の中で、一義的に標準施工を決めているのが実状です。

## 2. 使用材料の種類・仕様

### ①タイル

100 mm角以上～600 mm角以下 厚さ 7 mm以上 15 mm以下

### ②接着剤（推奨接着剤）

メーカー名	商品名	床暖房対応
アイカ工業株式会社	アイカエコエコボンド SE-40	○
セメダイン株式会社	タイルエース床用	×
株式会社 大建化学	ドリームボンド Z	○

※壁用接着剤（EY-21、-30 等）は、使用できません。その他内装用ボンド類も使用できません。

### ③目地材

#### i) 内装床特殊目地材

下地に顕著な動きが予想される内装床を想定した、弾性系目地材です。非セメント系目地材ですから、硬化が早く施工時の注意が必要です。取り扱い説明書をよく読んでください。

床暖房にも使用できます。



#### ii) セメント系目地材

一般に内装へのセメント系目地材は、表面性状がきれいな目地が適しています。市場の中で入手可能な既調合セメント系目地材をお使いください。内装床仕様の場合 5 mm程度の目地幅を求めますが、骨材の粗い目地材はあまり向きませんので注意して選択してください。5 mm以下の目地では、下地の動きで割れることがあります。タイルに支障をきたすことも有りますので、5 mm以上としてください。

### 3. 施工方法

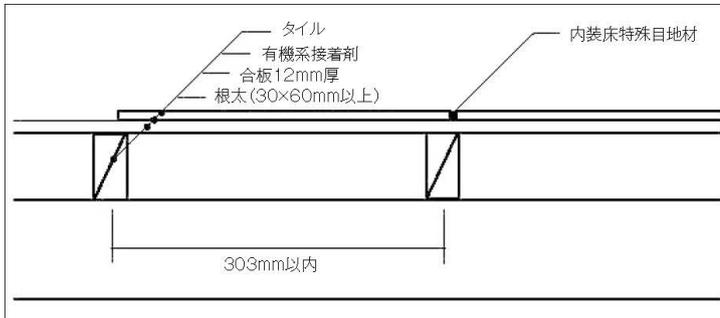
場合によって下地構造が異なる場合がありますが、一般的には下記根太を用いた場合と支持脚を用いた二重床とする場合があります。どちらも適切な厚さの合板を下地とします。

#### ①根太を用いた合板下地の場合

##### i) 根太ピッチが303mm以内の場合

根太の上に床下地合板（針葉樹合板3×6版、12mm厚）を張り、有機系接着剤を使ってタイルを張ってください。目地は弊社弾性目地材（内装床特殊目地材）をご使用ください。

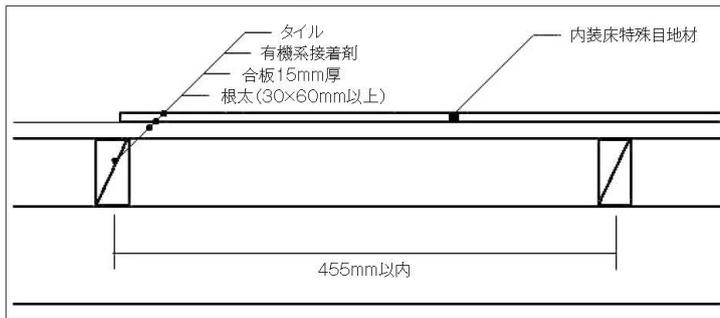
##### ●根太ピッチが303mm以内の場合



##### ii) 根太ピッチが455mm以内の場合

根太の上に床下地合板（針葉樹合板3×6版、15mm厚）を張り、有機系接着剤を使ってタイルを張ってください。目地は弊社弾性目地材（内装床特殊目地材）をご使用ください。

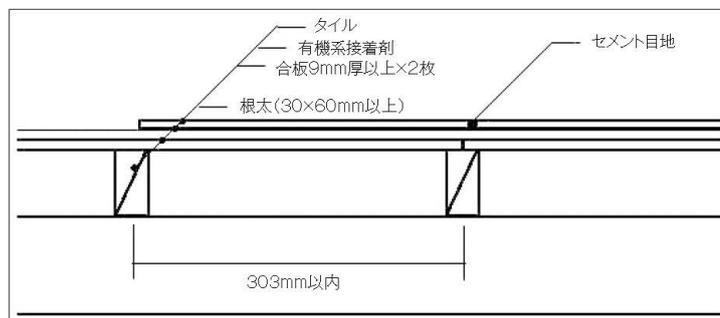
##### ●根太ピッチが455mm以内の場合



##### iii) セメント目地材に限定する場合

セメント目地材が前提の場合、根太ピッチは303mm以内とし、根太の上に床下地合板（針葉樹合板3×6版、9mm厚）を二重に重ねて張ってください。有機系接着剤を使ってタイルを張ってください。目地は既調合セメント系目地材を利用してください。

全国タイル業協会床タイル工事施工法一覧どおりの方法です。



### 共通留意点

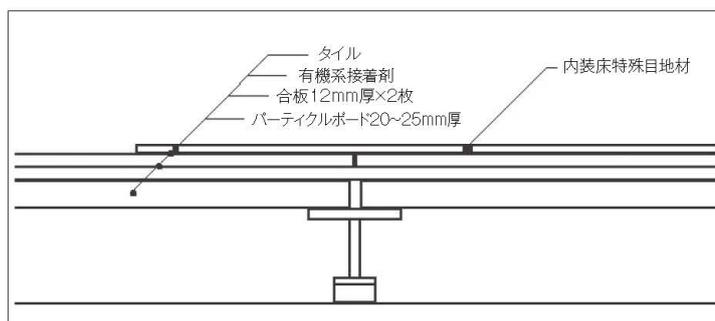
- ・ 下地となる部材は、反りやねじれが生じないように必ず乾燥材を使用すること
- ・ ボード間の継ぎ目で段差が起きないこと
- ・ 精度の良い床下地を作製すること
- ・ 有機系接着剤は 5～7 mmクシ目ゴテを用いて約 2～3kg/m<sup>2</sup>を使用して圧着張りとし、裏足の高いタイルの場合は必要に応じてタイル裏面にも接着剤を塗布すること
- ・ 目地幅は 5～8 mmの範囲が適し、内装床特殊目地材は 8 mmを超えるとひび割れが発生する場合があります注意が必要。

### ②支持脚を用いた二重床の場合

二重床は床面の下側に空間があり改修時等に有用な方法です。工法についてはメーカーの仕様書に従ってください。支持脚の上にパーティカルボード（20～25 mm）を張り、その上に合板（針葉樹合板 3×6 版、12 mm厚）を二枚重ねて張ってください。このとき、上合板のつなぎ目と下合板のつなぎ目が重ならないよう注意してください。

タイルは有機系接着剤を使って張ってください。

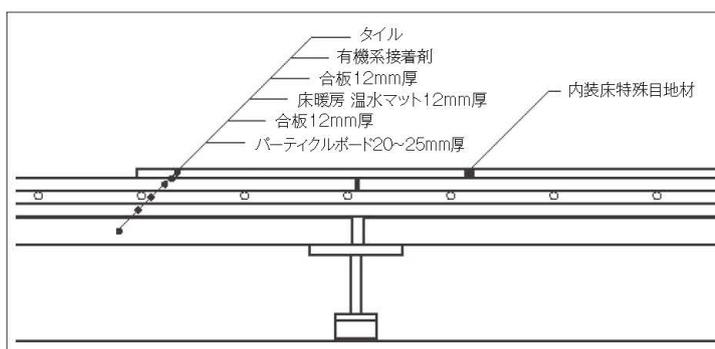
目地は弊社弾性目地材（内装床特殊目地材）をご使用ください。



### ③二重床で床暖房の場合

床暖房については、温水式、電気式等の方法があり、方式によって床構造が変わりますのでメーカー仕様書に従ってください。右記イラストは一般的な温水式床暖房の例です。

目地は弊社弾性目地材（内装床特殊目地材）をご使用ください。



#### 共通留意点

- ・ 下地となる部材は、反りやねじれが生じないように必ず乾燥材を使用すること
- ・ ボード間の継ぎ目で段差が起きないこと
- ・ 精度の良い床下地を作製すること
- ・ 有機系接着剤は 5～7 mmクシ目ゴテを用いて約 2～3kg/m<sup>2</sup>を使用して圧着張りとし、裏足の高いタイルの場合は必要に応じてタイル裏面にも接着剤を塗布すること
- ・ 目地幅は 5～8 mmの範囲が適し、内装床特殊目地材は 8 mmを超えるとひび割れが発生する場合があります。注意が必要。
- ・ 床暖房への有機系接着剤は、対応品と非対応品があるので注意が必要

#### JASS19 記載事項（共通）

- ・ 合板は、日本農業規格（JAS）によること
- ・ 合板留め付け状況は問題ないか、ボード間にタイル張りに支障をきたす段差はないか、適切に調整されているかを確認すること

### 3. 最後に

この留意書にまとめた「屋内床木質系合板下地」の範囲の需要は、従来の RC コンクリート、モルタル下地とは異なり、有機系接着剤を用いた施工が大きくなっています。しかしタイル施工の公的な仕様書としては、JASS19（建築工事標準仕様書・同解説（日本建築学会））で多少触れられていますが、まだ細部にわたる明確な仕様書の水準とは言えません。一方、床へのタイル施工の多くは湿式タイル張り工法が未だに主体となっている現在でも、この需要は圧倒的に有機系接着剤が使用されることが多いようです。これは下地が木質系でありたわみ等による下地自体の動きや、床暖房などの温度的な変化も発生しやすいことが要因となっています。ここに示した内容は、全国タイル業協会の床タイル工事施工法等を参考にはしていますが、今のところニッタイ独自の見解です。有機系接着剤メーカーや床暖房設備メーカー等の資料も参考にして、的確な施工に心がけてください。

【改正履歴】

Vol.01

2019年6月5日～